

県立都市公園の建設ラッシュ

高度経済成長期の県立都市公園

年 表

- 1873年 ● 都市公園制度が創設
(明治6年太政官第16号)
- 昭和期 1926年～1989年
～高度経済成長期(1955年～1973年頃)～
- 1956年 ● <都市公園法が公布>
- 1957年 ● 三ツ池公園・保土ヶ谷公園・葉山公園
・塚山公園・湘南海岸公園を開園
<神奈川県都市公園条例を公布>
- 1958年 ● 相模湖公園・城ヶ島公園を開園
- 1959年 ● 恩賜箱根公園を開園
<辻堂演習場が返還(後の辻堂海浜公園)>
- 1964年 ● <東京オリンピック開催
(相模湖公園がカーネーション会場になる)>
- 1971年 ● 辻堂海浜公園を開園
- 1972年 ● 湘南汐見台公園を開園
- 1975年 ● 観音崎公園・東高根森林公園
～
・相模原公園・大磯城山公園
- 1988年 ● ・七沢森林公園・四季の森公園を開園
- 2017年 ● 山北つぶらの公園が開園
(県立都市公園27公園目)
- 2026年 ● <公園で昭和100年のイベント開催>



三ツ池公園(昭和43年) 県立公文書館所蔵



保土ヶ谷公園(昭和46年) 県立公文書館所蔵



辻堂海浜公園(昭和48年) 県立公文書館所蔵

高度経済成長期の神奈川では、昭和32(1957)年に三ツ池公園など5公園が開園したのを皮切りに、昭和47(1972)年までに10公園が開園しました。現在開園している27公園のうち、半数以上に当たる16公園が昭和期に建設されています。

県立都市公園では、昭和100年を記念した関連施策として、昭和を感じられる企画展示など様々なイベントを開催しています。ホームページなどをご確認のうえ、ぜひお越しください。

→イベント開催状況については、コチラ



かながわ「昭和100年」

つながる心、ともに未来へ